

**全国進路指導研究会**

**「春のセミナー」2016**

# 「LGBT」

## ってなんだろう？

—互いのちがいを受け入れ、尊重し合う学校・社会をつくるために—

**■2016年5月14日(土)**

**14:00~16:30** 開場 13:30

**■武蔵野市民会館 地下集会室**

(JR 中央線武蔵境駅北口徒歩5分)

**■報告:薬師実芳さん**

(NPO 法人 ReBit 代表理事、山形大学非常勤講師)

編著『LGBT ってなんだろう?』(合同出版/2014)

文部科学省は、この4月1日「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒の対するきめ細かな対応等の実施について」とする文書を、学校の「教職員向け」に通知しました。昨年4月に「性同一性障害」に係る児童生徒への対応を求めた「通知」を一歩進めたものです。

この一年間だけみても、渋谷区パートナーシップ条例が先駆となり、世田谷区が続き、最近では三重県の伊賀上野市でも、同性婚の権利を認める条例がつけられています。特に、性同一性障害は、1990年代まで、精神疾患・病氣と治療の対象と見なされていました。そうした社会環境のなかで、やり場のない苦しみ、怒りや生きづらさに悩んだ方々が多かったことと想われます。

全進研(全国進路指導研究会)は、子ども・若者たちの「進路観の形成」を手助けすることを進路教育/進路学習のテーマと掲げ、「性教育」の重要性を指摘してきました。全進研「春のセミナー」は、その大きな課題について学び合う機会です。ぜひふるってご参加下さい。

「…LGBTは『性的話』『恋愛話』としてくられ、子どもに関わる話ではないとされてしまうこともあります。実際にこの団体(ReBit)も、発足当初は電話をした100校近くの学校に出張授業を断られていました。しかし、LGBTの話は性や恋愛“だけ”の話ではなく、実際には一人ひとりのアイデンティティに関わる話であり、どう生きるか、誰と生きるかという、その人のライフプラン全てに関わる話です。そのため、LGBTであることを否定的に捉えられてしまうことは、自尊心の低下につながりやすくなります。たとえば、性同一性障害の方の約7割は自殺を考え、そのピークは第二次性徴期-小学校高学年から高校の間だと言われています。だからこそ、私たちはLGBTと子ども・若者の支援が大切だと考えます。…」薬師実芳「LGBTを含めた全ての子どもたちが生きやすい未来のために—ReBitの挑戦から」『現代思想』2016年4月号



武蔵野市民会館(中央線武蔵境駅北口)地図はこちらでご覧ください。

[http://www.city.musashino.lg.jp/shisetsu\\_anna/shisetsu\\_bunka/000949.html](http://www.city.musashino.lg.jp/shisetsu_anna/shisetsu_bunka/000949.html)

**資料代: 1000円 学生無料**

主催●全国進路指導研究会/武蔵野の教育を語る会

連絡先 090-9145-9892

HP: <http://zenshinken.jimdo.com/>

Mail: [zenshinken@hotmail.com](mailto:zenshinken@hotmail.com)

FB: <https://www.facebook.com/zenshinken/>